



友朋会理念

『患者さんのために』

contents

- 1 目次
- 2 ものわすれメンタルクリニック20年の歩み
- 3 創立54周年記念式典開催／合同慰霊祭
- 4 防災訓練／看護の日
- 5 鹿島藤津地区リハネット研究会報告
- 6 NewFace／地域連携室通信／精神科外来広告モニター設置
- 7 朋寿苑
- 8 理念・診療科の紹介及び診療担当医師一覧表

ものわすれメンタルクリニック20年の歩み

ものわすれメンタルクリニックは、本年3月で20周年を迎えました。この20年を振り返ってみたいと思います。

平成11年3月、西鉄平尾駅前のビルに、認知症専門外来と認知症の通所リハビリテーションとして開設。昭和40年代から当会で培ってきた認知症の方への芸術療法が「認知症初期の人に施行することで、認知症の進行防止ができる」という信念のもとその実践の場として開業されました。

立ち上げ当時、陶芸・絵画療法を中心に少人数の利用者様で開始した通所リハ(アトリハ/デイケア)は、平成28年に移転を機に、新たに認知症対応型通所介護事業(奏/デイサービス)と住宅型有料老人ホーム(ゆ〜ほ〜む)の2事業を加え、現在、約80名の利用者様が陶芸・絵画・音楽療法を実践されています。

平成21年の10周年記念行事では、認知症の方を抱える家族の心の支えの一助となることを信じ、当時利用されていたご家族様の貴重な介護体験を掲載した10周年記念誌を作成しました。信念として実践してきた芸術療法の意義、意味を実感する機会となり、現在まで私たちの励みとなっています。(一部掲載)

ものわすれメンタルクリニック 看護師長 早瀬 雄一郎

「芸術療法のおかげです」

母が、「ものわすれメンタルクリニック」にお世話になり始めたのは、開所して半年も経たない頃だった。…昼間はここを最大限活用させていただいて、夕方はお手伝いさんをお願いする、朝と夜の世話は私が、という生活が6年続いた。母は生来お稽古事が好きなので、クリニックの芸術療法がとても合っていたようだ。毎朝、通うのをとても楽しみにし、迎えが遅いときには一人で歩いて行こうとする。でも当然ながら道に迷ってしまうので、後から探し回るのが大変だった。クリニックをお願いして一番早くにお迎えに来ていただくようにした。

この間もう限界だと思ふような出来事もいろいろあったが、その都度芹川先生にご相談して乗り越えてきた。(中略)芸術療法のおかげで母の認知症の進行はずいぶん緩やかだったと信じている。今でも、施設からクリニックのデイケアに通えればよいのにと、思っているくらいだ。(掲載承諾済)



利用者様の作品(寄稿者の母)

20周年を迎えたものわすれメンタルクリニックは、今まで培ってきた知識・経験を活かし「認知症の人を含む高齢者にやさしい地域づくりの推進」に貢献できるよう努力して参ります。

創立54周年記念式典

平成31年4月6日(土)に当会の創立54周年を記念して式典を開催致しました。

当会において年間を通して最も重要なイベントの一つです。

多くのご来賓の方々にご出席いただき、お祝いの言葉をいただきました。

また、永年勤続職員(10年勤続、20年勤続、30年勤続)が表彰を受賞し、勤続15年の意見発表においては、当会の歴史と発表を行う職員それぞれの15年をを重ね合わせて意見を述べられていました。



中川理事長挨拶



榎副院長挨拶



永年勤続表彰



勤続15年意見発表



新入職員自己紹介



ミャンマーからの留学生自己紹介

合同慰霊祭

平成31年3月1日(金)13時30分より合同慰霊祭を執り行いました。

平成30年1月1日から12月31日までの間にお亡くなりになられた188名のご冥福をお祈りし、黙とうならびに献花を捧げました。



理事長挨拶



献花の様子

防災訓練

令和元年5月21日(火)大雨による土砂災害を想定した避難訓練を、南西病棟にて実施しました。当日は南西1、2病棟(認知症病棟)に入院されている患者さん38名と模擬患者40名を、向かい側の施設である朋寿苑へ避難誘導しました。無線を使って避難状況を確認しながらリーダーから適切な指示を出し、本番さながらの訓練をすることができました。また大雨を想定しての訓練とのことで、ブルーシートを使って避難用の簡易トンネルを設置したり、避難された患者さんが安心できるよう避難先で作業療法士による活動を提供するなど工夫を凝らしました。

訓練終了後の反省会では、「屋外での車椅子使用では少しの段差が障害となることから院内の再点検を行った方が良いのではないか」や「避難状況を誰もが明確に把握できる方法を検討してほしい」などの意見がありました。



2019年度 「看護の日」記念行事を開催しました。

5月11日(土)、嬉野温泉病院内介護サービスセンター駐車場で、「看護の日」記念行事を行いました。実施内容は、例年行っている血圧・体脂肪率測定、生活習慣病の予防についての栄養指導、介護相談に加え、今年は血管年齢測定を行いました。当日は天候にも恵まれ74名(男性31名・女性43名)の方に参加して頂きました。

血管年齢測定は、人差し指1本で測定でき、性別・年齢をパソコンに入力すると80秒で測定結果とコメントが表示されるもので、測定結果を参加者同士で見せ合ったりされ、大変和やかな様子が見られていました。参加者の多くが体脂肪率測定よりも血管年齢測定に大変興味を持たれているようでした。近年自分の健康に対する興味・関心を持たれている方が多く、今後は更にニーズに応じた活動内容を検討していきたいと思えます。

業務委員会 「看護の日」担当 光武 敦子



第8回 佐賀県かかりつけ医 認知症対応力向上研修会を開催して

認知症疾患医療センター主催の「かかりつけ医認知症対応力向上研修会」を平成31年3月19日鹿島市生涯学習センター エイブルにて開催し110名の方々に参加していただきました。

「地域で支える認知症～今さら聞けないことにも答えます!! 各々の立場から～」をテーマにパネルディスカッションを行い、かかりつけ医の立場から志田病院理事長志田知之先生、行政の立場から太良町包括支援センター保健師野田初美先生、施設の立場から済昭園介護福祉士の副島貴志先生、専門医の立場から当認知症疾患医療センターの松尾先生の4名で各専門分野が直面している課題を報告してもらいディスカッションを行いました。

それぞれの分野が直面している課題など貴重な話を聞くことができ、実際の支援の難しさや支援体制の脆弱さなど驚きの報告もありました。

認知症の方々に地域で支えていくためには、どのような取り組みが必要なのか考えさせられた時間となりました。

認知症疾患医療センターが佐賀県に設置され7年半が経ちます。

認知症疾患医療センターは、認知症の方が住み慣れた地域や自宅で安心して暮らせるよう、認知症の早期診断から適切な介護まで、医療と介護の連携を行いながら認知症になられた方とご家族の支援を目的としています。

この研修会は、かかりつけ医の先生をはじめ、医療、福祉の現場で働く方々を対象に「認知症の地域連携」をテーマに毎年開催しています。「認知症」の正しい理解と地域連携の充実を目指して今後も役に立つ研修会を開催していきたいと思えます。

ご意見や要望等ありましたら、認知症疾患医療センターまでご連絡ください。



友朋会認知症疾患医療センター 廣瀬 千鶴

NEW FACE 😊 新Dr.の紹介



久我 佳子

本年度より精神科医として赴任しました久我と申します。出身は鹿児島県ですが、夫の勤務の関係で熊本県に6年過ごし、7年ほど前から佐賀県で暮らしています。

嬉野は以前から穏やかな土地柄に惹かれて家族と余暇を楽しみにおじゃましていた場所でしたので、勤務できてもっと良いところに触れられる日々を過ごせることに感謝しています。地域にも貢献できるよう研鑽したい所存ですので、今後ともよろしくお願い致します。



菊地 潤

今年度からお世話になっております、精神科医師の菊地と申します。

昨年までは佐賀大学医学部附属病院で勤務していました。大学病院とは違う、嬉野の自然豊かなゆったりとした雰囲気、心癒されています。

趣味はアコースティックギターとタコ焼き作りです。休日にはもっばらキレイな音を奏でることとキレイな球体を焼き上げることに邁進しております。

皆様のお役に立てるよう日々努力して参りますので、よろしくお願い致します。

地域連携室通信

今回の連携室通信は新年度より精神科地域連携室に配属となった新入職員のご紹介です。



精神保健福祉士の安藤章子です。

本年3月に長崎国際大学を卒業、4月より友朋会に就職し、精神科地域連携室にて勤務させて頂くことになりました。人と関わることが好きで、誰かの助けになれるような仕事をしたいと思い、この職種を選びました。

社会人1年目で、分からないことも多く、ご迷惑をおかけすることもあると思いますが、出来るだけ早く戦力になれるように頑張っていますので、宜しくお願いします。

モニター広告、はじめました。

今年4月より、西外来待合室にモニター広告が設置されました。

小児リハや家族会のご案内など、外来部門における嬉野温泉病院の取り組みを中心としながら、皆さまの生活に役立つトピックスも紹介をさせて頂いております。

今後も医療に関する情報はもちろん、管理栄養士による簡単レシピや、活用できる福祉制度のご案内など、さらに内容を充実させていく予定です。

当院へお立ち寄りの際はぜひご覧になられて下さい。

文責:広報委員会 小池 隆之



介護老人保健施設

朋寿苑

TEL0954-42-2900・FAX0954-42-2907



医療法人財団 友朋会の老人保健施設 朋寿苑では、家庭的な雰囲気と利用者さまの個性尊重を第一に、きめ細かなケアプランにそった介護と多彩な生活機能訓練によって、家族復帰を目指しています。朋寿苑は、毎月いろいろな行事を開催しており、ここでは平成30年10月～平成31年3月に開催しました行事の一部をご紹介しますと思います。

イルミネーション見学



病院入り口には、毎年クリスマス前にイルミネーションの飾り付けが行われています。皆さんイルミネーションの存在を知られておらず、「こがん所にあるとねー」「あらー！きれかね！」と喜んでいただきました。また「来年もぜひ行きたいので元気でがんばね」との嬉しい声も頂きました。

アロママッサージ



アロママッサージを行いました。「気持ちよかったよー」「きれいになったねー」「つつるになった」とすごく喜んで頂けたみたいです。入所者様の笑顔がとても印象的で今後も定期的にあロママッサージを利用者様に提供して、少しでも安らいで頂けるように計画していきたいです。利用者様の笑顔でスタッフも一緒に癒されたひと時でした。



ひな祭り

リフレッシュ企画として『ひな人形作り』を行いました。春らしく色鮮やかで明るい雰囲気の中で行うことが出来ました。お内裏様とお雛様の位置について、自身の夫婦関係に照らし合わせて、寄せてみたり、離れてみたり、お雛様が3歩前に出たり(笑)。「またみんなで集まっているのやりたいね」という嬉しい言葉を頂きました。

花見



今年も朋寿苑にきれいな桜が咲いてくれました。入所の皆様も待ちに待った桜の訪れに笑顔満開です。桜の花言葉は“ほほえみ”だそうです。桜はみんなを笑顔にしてくれて、日本人に生まれて良かったと思わせられる瞬間ですね。「きれかねー♪あんたも見てみらんね」「なんともいえんね」など自然と会話も弾み、長い時間眺められていました。皆さん、良い笑顔されていてっやいます。

友朋会理念 『患者さんのために』

基本方針

- 1 患者さん一人ひとりの立場になって、提供すべき医療を考え、実践する
- 2 在宅での生活を目指した医療・看護・介護・リハビリ・福祉を実践する
- 3 創設時から継続されている退院支援・生活支援・就労支援の更なる充実のために地域包括ケアシステム・地域医療構想の視点を加える
- 4 芸術療法的な治療空間・アメニティーを重視し、芸術療法を治療技法として高める
- 5 医療安全対策・感染予防対策・精神科医療事故防止・防災対策・防火対策など総合安全対策体制を確立する
- 6 地域医療機関との連携や役割分担による医療を実践する
- 7 地域において認知症疾患医療センターを軸にリーダーシップを発揮する
- 8 児童思春期精神医療を実践し、地域の子どもの健やかな成長に寄与する
- 9 安全で質の高いチーム医療を実践し、地域の医療・福祉の向上に貢献する
- 10 医療従事者として自己研鑽に精励する

職業倫理に基づく行動指針

- 1 患者さんの自己決定権を尊重する
- 2 患者さんが自己の情報を知る権利を保障する
- 3 患者さんがセカンドオピニオンを求める権利を保障する
- 4 患者さんに安全で質の高い医療を提供することに最善を尽くす
- 5 患者さんに医療的な説明を十分に行う
- 6 患者さんに治療に関する同意を確実に得る
- 7 患者さんの「基本的人権」を保障する
- 8 患者さんの尊厳を保つ
- 9 患者さんの終末期医療について理解を深め、その実践に努力する
- 10 患者さんの個人情報を守る

診療科の紹介及び診療担当医師一覧表

*診療時間

- ◎月曜～金曜
- ◎午前の部／8:30～12:30
(第1土曜 8:30～12:30)
- ◎午後の部／13:30～17:00
- ※ただし、水曜、金曜の眼科外来は10:00より開始

*休診日

- ◎第2・3・4・5土曜、日曜、祭日
- 年末2日、年始3日間

*予約診療

- ◎待ち時間短縮のため、予約診療とさせていただきます。

*眼科の診療時間

- ◎月曜日 午後のみ13:00～17:00
- ◎水・金曜日 午前10:00～12:30
午後13:30～17:00

診療科	月	火	水	木	金	土	備考	
精神科	新患	吉本静志 前田直子	渡邊 至 松尾勝久 吉本静志	渡邊 至 光吉幸次 菅高一博 田中邦宏 PM 富松	田中邦宏 松尾勝久 奥 栄作 三根禎行	奥 栄作 富松眞之 松尾勝久 PM 三根		
	再来	富松眞之 松尾勝久	奥 栄作 田中邦宏 前田直子	吉本静志 中山 享	中山 享	三根禎行 菅高一博 渡邊 至	予約者のみ	
	専門外来	精神科一般、ものわすれ、児童思春期、うつ病メンタルヘルスなどご希望がありましたら、ご相談ください。						
内科	上野 隆	竹下吉明	岡本純明	林原歳久	榎真佐史	非常勤医師		
泌尿器科	倉富一成	江原 孝	倉富一成	江原 孝	倉富一成	予約者のみ	午後は事前連絡	
眼科	崎戸晶子 (13時～)		崎戸晶子 (10時～)		崎戸晶子 (10時～)		(月) 午後13:00～17:00 (水・金) 午前10:00～12:30 午後13:30～17:00	

R1.6



医療法人財団 友朋会

〒843-0301
佐賀県嬉野市嬉野町大字下宿乙1919
電話:0954-43-0157
FAX:0954-43-3440
E-mail:info@yuhokai.com
URL:http://www.yuhokai.com/



- 嬉野温泉病院 0954-43-0157
- 認知症疾患医療センター 0954-43-0003
- リハビリセンター「ほほ笑み」 0954-43-0194
- 介護老人保健施設 朋寿苑 0954-42-2900
- 朋寿苑 通所リハビリ 0954-43-0233
- 友朋会介護サービスセンター 0954-20-2531
- グループホーム 千寿荘 0954-43-0157
- 就労支援センター「希望」 0954-43-0249
- 地域連携室 0954-43-0255
- 小規模多機能ホーム「孝心の里」 0954-43-7550
- ものわすれメンタルクリニック 092-534-5151
〒815-0082 福岡市南区大楠2丁目15-28